

# HIV陽性者のための 治療に関する勉強会



今日では、主治医や様々なツールを通じて、HIVの治療に関する知識を得ることが容易になりつつあります。しかし、例えば仕事の内容や人間関係、HIV以外に抱えている疾患などによって、治療に対するニーズや選択肢は人によって異なるものです。また、HIVに感染していても服薬によって長く生きられるということは、将来の転職や転居、他の疾患など生活環境が変化する可能性があり、それらに対応しつつ治療を継続していかねばなりません。

この勉強会では、医療や福祉に関する客観的な情報を知るとともに、その情報を自身の生活にうまく取り込み、自分本来のライフスタイルに合った考え方や価値観を見出していく機会を提供します。

**日時** 2010年9月19日(日) 14時30分～17時30分

**会場** 東京都内

(安心してご参加いただくため、お申込み頂いた方にのみ後日ご連絡させていただきます)

**講義  
内容**

## 1. 治療と生活のアウトライン

講師: **長谷川博史** (日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス 代表)

治療に対して主体性を持つこと、客観的な理解を踏まえること、自分自身のライフスタイルを考えて医療を選択することなどの大切さについて、患者の立場から提示します。

テーマ: 自分自身が治療の主体であること / 治療や医療の選択ポイント / メリットとデメリット (リスク) の考え方 / 治療と仕事・人間関係・性生活との関係 ほか

## 2. 医学的な基礎知識と最新情報

講師: **今村顕史** (東京都立駒込病院・感染症科医長)

医学的な観点から医療や治療について学び、現在および将来における治療へのビジョンを構築するための客観的な知識や情報を提供します。

テーマ: HIVウイルスの仕組み / 抗HIV薬の種類 / 副作用 / AIDS症例と治療 / HIV以外の疾患との関連 / 検査数値の見方 / 他科や他医療機関との連携・転院 / 最近の治療動向 / 現在および今後の医療・治療に関する課題 ほか

## 3. 福祉の活用

講師: **生島嗣** (特定非営利活動法人ふれいす東京・相談員)

HIV陽性者が活用可能な福祉資源のリソースを紹介します。生活状況に合った福祉サービスの選択肢を把握するとともに、将来のライフステージの変化に備えます。

テーマ: 社会福祉士の仕事 / 免疫機能障害者として活用可能な福祉制度・サービス / 現在および今後の福祉サービスに関する課題 ほか

**主催** 日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

**後援** 万有製薬株式会社

※この勉強会は、HIV陽性者の方限定のイベントとなります(ただし、後援企業の社員が若干名参加させていただきます)。なお、参加費は無料です。

参加方法につきましては、裏面をご覧ください！(9月5日締切)